

ARTS for HOPE 活動報告書

2015年1月26日-28日

①1月26日／福島県福島市 旧佐原小学校仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

浪江町民の方々と初めてのHappy Doll Projectを開催しました。福島第一原発から20キロ圏内に位置する浪江町。全町民の約17%の方々が福島市にて生活をされています。作品を作りながら色々な想いを話して下さいました。「今日は本当に楽しい時間だった」とのお言葉に、またの再会を願わずにはられませんでした。また皆さんとお会い出来る日が、再び必ず訪れますように！



②1月27日／福島県福島市 宮代仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

浪江町民の方々とHappy Doll Projectを開催しました。今日のプログラムを楽しみにして下さっていた皆さん。プログラム開始時間前から続々と集まって下さいました。スタートと同時に黙々と制作開始！個性光る素敵な作品が次から次へと生まれる中、「1日も早く家族一緒に暮らしたい」「みんなが幸せで落ち着いた生活ができますように」「明るい未来が来ますように」など、たくさんの願いが溢れました。皆さんとの温かな時間はあっという間に過ぎ、遠くから来てくれてありがとうございます、何度も繰り返し頂いたお言葉を胸にまたの再会を願う活動となりました。



③1月28日／福島県福島市 福島県立大笹生養護学校

「みんなでえがく大きな絵」～生き物たちのいづく森 大笹生編～」の実施

トヨタ自動車株式会社の「ココロハコブプロジェクト（芸術・文化を通じた復興支援活動）」の一環として、埼玉県のアーティスト 川崎久美さんをお迎えし、福島県立大笹生養護学校にて「みんなでえがく大きな絵」～生き物たちのいづく森 大笹生編～』を開催しました。

川崎さんから学校を囲む山や森に住む生き物について聞かれると、「猿がいるよ!」「ヘラクレスオオカブトがいる!」「カモシカがいるよ!」「ライオンがいるよ!」と元気一杯に発表し、「生き物たちのいづく森」を一心に描きました。子どもたちのイマジネーションとたくさんの生き物たちの息吹が詰め込まれ、小学部20名の子どもたちの大作が完成!子どもたちの興奮と達成感で包まれた会場は、さまざまな垣根を越えたとても温かな空間となり、「次はいつ出来るの?」と目を輝かせる子どもたちの姿をとっても愛おしく思う時間となりました。





最後の挨拶やインタビューもとても立派でした！

